

療育研修会

京都 支部

◆テーマ 筋ジストロフィー患者の在院就労活動の現況 講師 中岡 稔 侍

- 松江医療センターにおけるデザイン制作グループの活動 在院就労
① 形態としての短期スポット雇用 ② グループでの就労 ③ 納期が
後でかたパソコンと軽作業等の業務内容の3パターンに分け具体的に
活動を始めた
- 就労支援モデル施設である徳島病院での3年間の取り組みについて
業務を重なる度々業せきも拡大し収入も増加したが 病状の進行による
技能低下により業せきが低下した

◆テーマ 多野病院筋ジストロフィー病棟移転における課題 講師 田中 彰

- 旧病棟は病棟が建ってから学校を誘致したので 学校と病棟はつながって
いたが新病棟は丘の上なので耐震があるので登校するのに移送手段
が必要と思われるか 市教委の対応はどうなるか
- 昭和50年に借地を建設した「いっいの家」移転について
① 適当な場所が借地できるか ② 建設費の負担はどうなるか
「いっいの家」については特に平成21年秋に地盤沈下により建物が
傾き風呂が使用できなくなったので180万を予算で改修した(6月完成)
ところが早く解つたら改修は行なわなかった

療育研修会実施状況

京都支部

参加数

24

テーマ： ◆筋ジストロフィー患者の
在宅就労活動の現況

◆宇多野病院筋ジス病棟
移転における問題点

講師： ピアカウンセラー 中岡 稔侍

筋ジス親の会会長 田中 彰

実施場所： 京都総合福祉会館 ハートピア京都



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

宇多野病院筋ジス病棟移転の話が「いっこの家」の改修後に公けに
なったのは病院の秘密主動によるものか、かりを貰える。又改修費について各
方面に寄付を募り、不足分は利用者負担という浄財である。通学の内題も含めて
円滑に解決してほしい。

存続就労については、松江病院では収入のほとんどが経費として支出され、
賃金を得るまでに至っていないのは残念。また報酬よりも活動を通じての
社会参加や活動による生きがいとしての対策の感も強い。徳島病院に於
てもADLの低下により効率の悪化、就労意欲の低下が内題